

## 脱走防止のケーススタディ集

よそから里子に迎えた猫でも、野良だった猫でも、長い年月外へ出たがったことのない飼猫でも、絶対に完全な脱走防止対策は必要です。

飼い主の不注意で一瞬の隙に脱走させてしまい、悲しく苦しい経験をされた事例を本当にたくさんあります。

大切な家族の一員である猫がある時突然脱走してしまい、それっきり行方不明になってしまったり、発見された時には無残な姿になっていたということが後を絶ちません。里子に行った猫がまだ日も浅いうちに里親さんのお宅から脱走してしまったということも実際にはとても多いものです。

そのような悲劇が起きぬよう、必ず脱走の可能性が少しでもある箇所には、目に見える脱走防止対策が必要です。

脱走防止対策はご自宅の構造などによっても多少工夫や配慮の仕方に違いも出てきますが、飼い主がきちんと危機感を持ってご自宅内の隅々まで気を配り実施してくだされば、必ずどなた様でも完全なものとする事ができると考えています。

また、その目に見える手で触れる徹底した対策が無駄になってしまわぬよう、ただのお飾りになってしまわぬよう、同居家族がある場合は**家族皆様全員が脱走防止対策の必要性を認識され、危機感を持たれ継続していく意志が必要です。**

このことは里親になって下さる方にお話させていただく機会がある度に、私が自分自身にも繰り返し言い聞かせていることでもあります。

### 脱走防止柵

掃き出し窓にはパーテーションを取り付けます。網戸の上部にスライド式のロックを付けた上でパーテーションを取り付けています。

玄関前のパーテーションです。市販のパネルと突っ張り棒を使って写真のように作っています。

### ❖玄関からの脱走が一番多いわけ

家族が外出するときに後ろからすり抜けて走り出る（猫は敏速）

## 脱走防止事例



掃き出し窓



窓



玄関内側

猫は、窓から見る動くもの（人、車、鳥、虫）などへの関心は非常に強いものです。

日がな外を眺めている姿と見ると、出してやりたい！という衝動に駆られますが、ここはじっと我慢をお願いします。

猫にとって外は非常に危険です。外敵（人間も含めて）が多いうえ交通事故、感染症、寄生虫等々、健康を脅かす条件が一杯です。

どうか、脱走防止にはくれぐれもご注意くださいませうようお願い致します。

